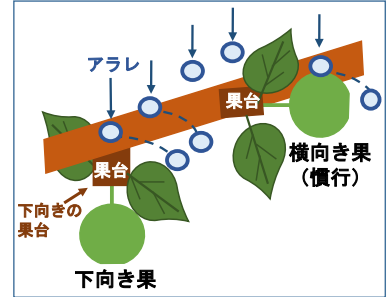


## ナシのアラレ被害軽減に有効な下向き果の果実品質

### 1 背景・目的

近年、春先のアラレ被害が増えており、簡易な被害軽減技術の開発が求められている。下向きの果台に着果した果実(下向き果)は、枝葉が傘の役割を果たすため被害の軽減に有効であるものの、小玉果となるなど品質低下が懸念される。そこで、県内の主要品種について、アラレ被害後の摘果の参考とするために、下向き果の果実品質を調査する。



### 2 技術のポイント

- (1) 下向き果の果実重は、慣行と比べて「あきづき」で1割程度、「豊水」で2割程度小さかったものの、いずれの品種も出荷基準の250gを超えている(図1)。
- (2) 下向き果の果実糖度は、慣行と比べて「あきづき」で0.7度(5%程度)低かったものの、いずれの品種も出荷基準の11度を超えている(図2)。

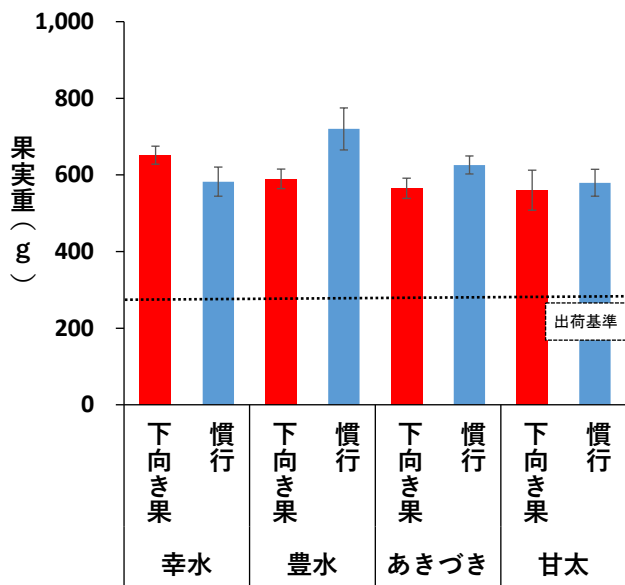


図1 果実重

図中の縦線は標準誤差を示す (n=10)

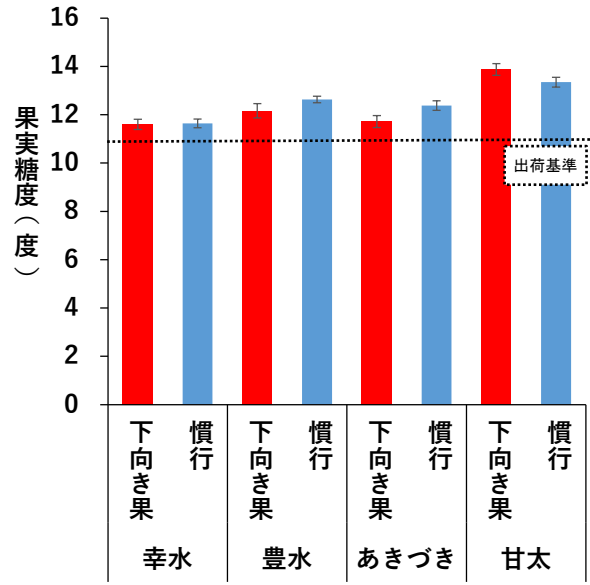


図2 果実糖度

図中の縦線は標準誤差を示す (n=10)

### 3 成果の活用と残された問題点

- (1) アラレ被害後の摘果は、キズの有無を確認して実施する。
- (2) 「あきづき」と「豊水」で下向き果を利用する場合には、日照不足で果実重や果実糖度が低下するため、多めに摘果する。

問合先：園芸栽培グループ TEL 076-257-6911  
 担当者：山内大輔・吉田谷菜々美